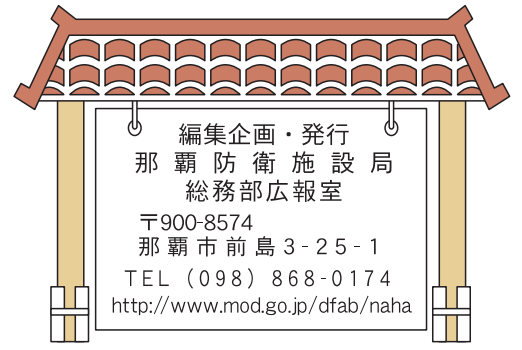




はいさい



編集企画・発行
 那覇防衛施設局
 総務部広報室
 〒900-8574
 那覇市前島3-25-1
 TEL (098) 868-0174
<http://www.mod.go.jp/dfab/naha>

夕陽

(糸満市美々ビーチより)

広報室 許田修二



10年ぶりの「やんばる」



仲間 俊廣

4月に金武防衛施設事務所に赴任して、さっそく関係機関への挨拶に伺いました。挨拶をひとつとおり済ませたのは、約1か月後のゴールデンウィーク直前になりました。当事務所の管轄区域の広さと、関係機関の多さを実感しました。

「やんばる」を一回りして特に感じたことは、国立工業高等専門学校等の公的な施設の設置、整備が数多く見られたことと、キャンプ・ハンセンのブート岳、金武岳、伊芸岳の山肌がすっかり緑に覆われていることです。

これらは、10年前、当事務所勤務から本局に転勤になった頃には見られなかった風景です。とりわけ、県道104号線越え実弾射撃訓練の着弾地になっていたブート岳、金武岳、伊芸岳の山肌は、広範囲に土がむき出しの状態になっていたので、今の姿を想像することは出来ませんでした。この変わりように、10年の月日の重みを認識させられました。

一方、「やんばる」の旧知の方々はどうかと言うと、赴任挨拶に伺った際に、暖かく迎えてくださったり、また、わざわざ、当事務所まで訪ねてくださったり、10年の経過を一切感じさせませんでした。感謝致します。

地域とのかかわりを大切にして業務を進めていきたいと考えているところ、「やんばる」の方々の変わらないお気持ちに接して、大きな勇気を頂いたと思っております。

当事務所は、北部地域の拠点として、本局の方針の下、業務を進めていくこととなりますが、「やんばる」の方々のお考えを良く聴きつつ、事務所の使命を果たしていく所存でございますので、皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

(金武防衛施設事務所長)

沖縄県民の方々

信頼の
トライアングル米軍人、軍属
そして家族の方々

施設局職員

那覇防衛施設局建設部 その組織と役割

那覇防衛施設局建設部では、沖縄県内に所在する自衛隊及び在日米軍が使用する施設の建設工事に関する業務を担当しています。

建設部の業務は、日本の安全保障を担う自衛隊や在日米軍がその任務を遂行するための土台となる防衛施設の整備等を行うとともに、地元の負担軽減を目的とするSACO最終報告等において、移設条件付きで返還が了承された米軍施設の移設工事など重要な役割を担っています。

今回は、当局建設部の役割等についてご紹介します。

在日米軍施設返還のための移設工事



▲瀬名波通信施設の移設

建設部においては、移設条件付きで返還される米軍基地の様々な施設を移設する工事を実施しています。

現在、那覇の新都心として発展を続ける「おもろまち」は、かつて、牧港住宅地区という米軍の施設でした。移設条件付きの返還であったため、1日も早く返還が実現できるよう職員が一丸となって移設工事に邁進し、1,200戸余りあった住宅を嘉手納飛行場等へ集約し同施設の返還が実現しました。

最近では、楚辺通信所がキャンプ・ハンセンへ、瀬名波通信施設がトリイ通信施設へ移設後返還され、楚辺通信所の電波緩衝地帯の役割をも有していた読谷補助飛行場も返還されました。

また、キャンプ桑江及びキャンプ瑞慶覧の住宅地区の土地の一部を返還するため、同地区の家族住宅を統合する工事も行っているところです。

今後、米軍再編により、さらに移設工事の重要性が増すものと思われます。



▲米軍家族住宅の統合

自衛隊や在日米軍が使用する施設の建設工事



▲航空自衛隊那覇基地庁舎



▲キャンプ瑞慶覧運動施設

自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設は、我が国の平和を守る基盤となるものです。建設部では自衛隊が使用する庁舎や隊員の宿舎である隊舎などの建物、飛行場や棧橋などの土木構造物、通信施設の整備など、多種多様な施設の建設工事を担当しています。また、在日米軍の使用する家族住宅や整備工場などの建設工事も担当しています。

平成19年度の主な工事

平成19年度の発注予定の工事は、那覇防衛施設局のホームページで閲覧できます。

発注予定の公表は、入札の透明性を高めるための措置として公共工事発注機関が実施しているもので、那覇防衛施設局でも毎年、年度当初に公表し、また四半期毎に内容を更新しています。

現在公表されている主な工事は、自衛隊では、陸上自衛隊那覇駐屯地の車両整備場工事、賀数宿舎、八重瀬分屯地の庁舎、航空自衛隊那覇基地における整備場工事等です。

また、米軍関係では、嘉手納飛行場の家族住宅、キャンプ瑞慶覧に所在する泡瀬ゴルフ場の移設工事、キャンプ桑江の海軍病院の移設工事等が計画されています。

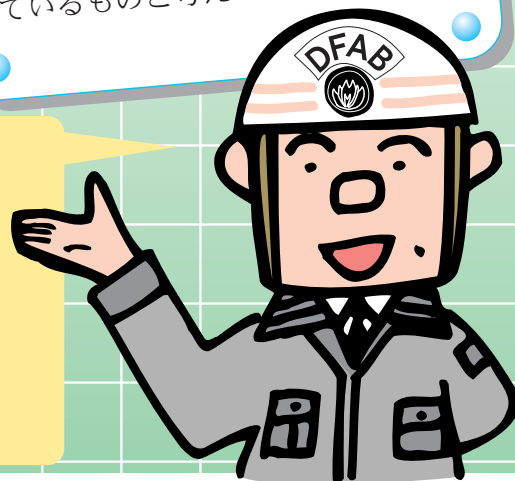
県経済への寄与

沖縄県などが公表している県内総生産や産業別就業人口の統計によると、沖縄県では建設業の占める割合が全国平均を上回っているといわれています。

当局発注工事等については、これまで地元沖縄県内の企業がその多くを受注されている状況にあります。

建設業のウエイトが高い中で、那覇防衛施設局が発注する建設工事も、県経済面に一定の寄与をしているものと考えています。

建設部の組織は、建設企画課、建築課、土木課、設備課の四課で編成され、建設工事に係る自衛隊や米軍との調整業務、設計業務、積算業務、監督業務、検査業務などを行っています。多種多様な施設を建設するため、技術的な知見も幅広く求められ、業務量も多いですが、今後も、自衛隊や在日米軍のユーザーに喜ばれる施設建設を目指すとともに、米軍施設・区域の返還に寄与できるよう、着実に建設工事を進め、職員一同がんばっていきます。



4月1日付 新規採用者をご紹介します

施設部

防衛施設の管理・取得・補償などの業務を担当



施設企画課 基地対策室
砂川 匡
(宮古島市出身)

3月いっぱいまで居酒屋でアルバイトをしていました。いきなり夜の仕事から朝に変わり初めは起きるのにとても苦労しました。最近はやっと慣れてこれからは早く仕事を覚えられるよう頑張っていきたいです。仕事でもプライベートでも充実した毎日が送れるよう頑張っていきたいです。



施設管理課
嶺井 亮司
(南城市出身)

先輩方は皆とても温かく私を迎えてくれて、とても楽しい日々を過ごしています。施設局の職員になって、私たちの仕事は沖繩を支えていくとても重要な仕事だということに改めて実感しました。「状況にあわせて切り換えがうまくできる人間」そういう人間を目指して全力で頑張ります！



施設取得第 一課 移設整備室
黒島 綾乃
(那覇市出身)

学生生活とは全く違う毎日で、朝もとても早く、夜型の私には大変な日々を過ごしています。英語を使う仕事では、失敗とか分からないことの連続ですが、沢山の方々に支えてもらいながら、なんとか頑張ることができています。早く一人前になれるように頑張ります☆



施設取得第二課
根間 丞二
(石垣市出身)

二年前、石垣島から進学のために那覇に来て、今年施設局に採用されました。いまだに本島の方言が分からず戸惑っています。仕事は難しいですが毎日が充実しています。一日でも早く一人前になれるよう頑張ります。



施設取得第三課
金城 かおり
(糸満市出身)

仕事に慣れていなくて、まだまだ覚えることも多いのですが、那覇局に入局できて嬉しいですね。健康に気を付け頑張っていきたいと思っています。皆さんどうぞよろしくお祈りします。



施設取得第四課
砂川 祐子
(宮古島市出身)

入局してから二か月が経ち、職場の皆さんとも仲良くなりました。那覇での生活は充実していて、休日もしっかり過ごしています。まだ、なかなか落ちついて仕事ができない私ですが、これから頑張りますので、皆さんどうぞよろしくお祈りします。

事業部

米軍の事件・事故補償、防衛施設周辺対策事業などの業務を担当



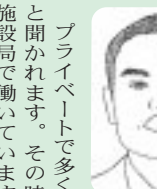
業務課
前田 寛太
(うるま市出身)

仕事はまだ見習い中ですが、まわりの先輩方の優しさと厳しきのバランスが良く、とてもリラックスして仕事をしています。休日は、仕事のことは全部忘れて、おもいっきり遊んでいます。最近日射が強いこともあって、ちょっと黒くなってきました。那覇局の一員として頑張らせていただきます。よろしくお祈りします。



施設対策第三課
比嘉 祥人
(富山県出身)

沖繩に長年住みつつも沖繩のことをあまり知らない為、密かに沖繩観光ツアーを計画しております。沖繩のことを勉強しつつ、大切な仕事を少しでも覚えるのが今の目標です。仕事とプライベート両方の目標を達成出来るよう努めていこうと思います。



施設対策第三課
宮城 彦士
(南城市出身)

プライベートで多くの人に「今何しているの？」と聞かれます。その時は自信を持って「那覇防衛施設局で働いています」と答えます。しかし、次に「施設局ってどんな仕事をするの?」という質問が必ず来ます。その時は、「・・・難しい仕事。」と曖昧な返事になってしまいます。早く自分がどういった仕事をしているのか堂々と答えられるよう、積極的に仕事に励みたいです。

建設部

自衛隊及び米軍が使用する施設の建設工事に関する業務を担当



建設企画課
田中 雄介
(千葉県出身)

沖繩は初めてです。飛行機に乗るのも初めてでした。そのうち免許をとって初めて車の運転席に乗る予定です。初めて尽くしですね。もちろん仕事も。色々なことに早く慣れたいです。露西亜や南米の文化が好きだという奇特な方は声をかけてください。



建設企画課
親泊 雅也
(那覇市出身)

入局してから今まであつという間に感じました。職場は明るく、毎日楽しく過ごしており、初めとても緊張していた頃に比べてだいぶ雰囲気に慣れてきました。仕事はまだ分からないことばかりなので早く覚えたいです。これからも前向きに楽しみながら働き、仕事も遊びも充実した毎日を送りたいです。



建築課
落合 誠
(香川県出身)

生まれて初めて沖繩に来ました。入局してすぐの頃は、周りに圧倒され大変でしたけれど、最近では余裕をもって行動が出来るようになりました。沖繩には、友人や知人がいないので、同期の人などと友好的な関係を築けたらと考えています。

編集後記

5月号から新スタッフで誌面作りに取り組んでいます。皆様に親しまれる「はいさい」をめざしていきたいと思っています。